



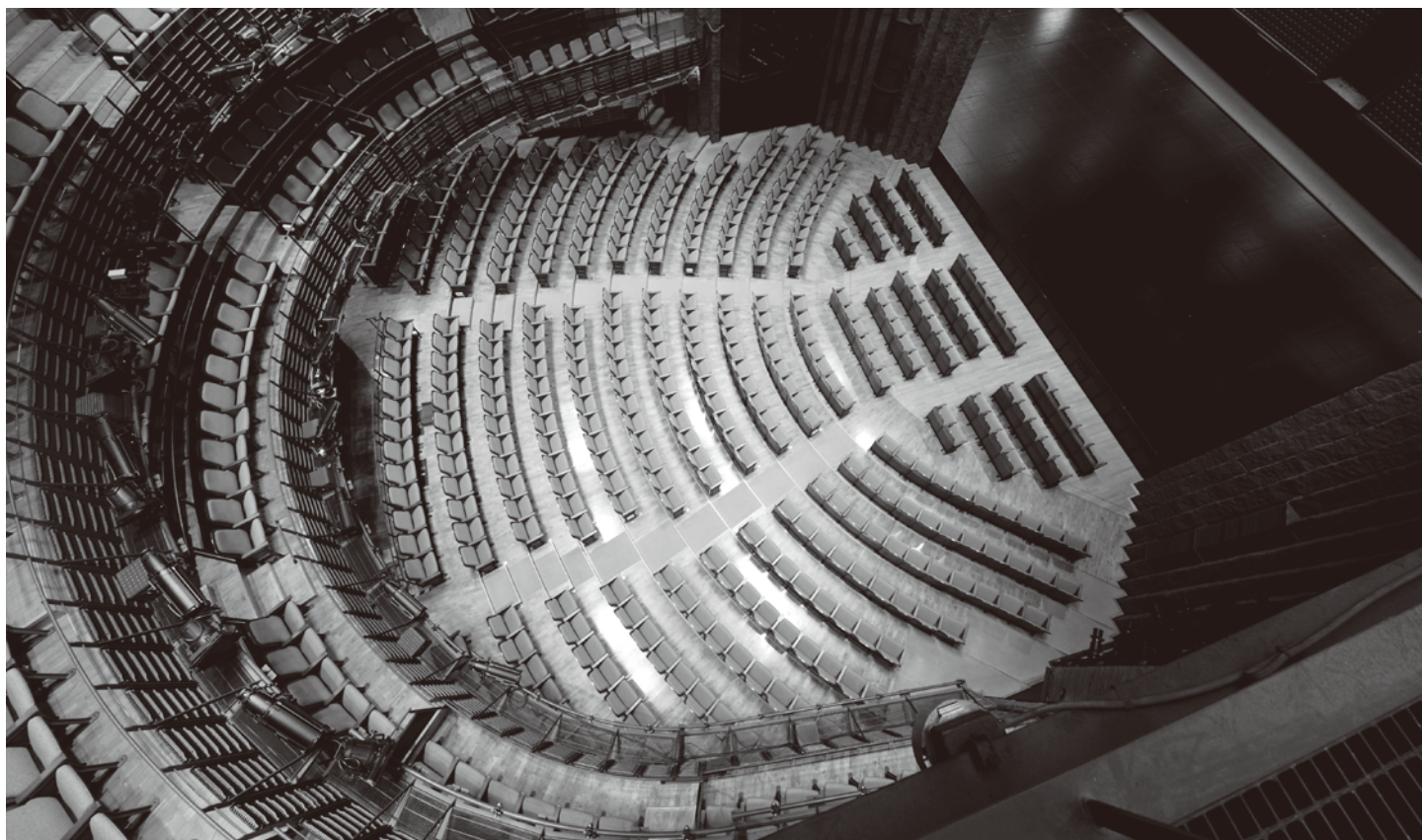
概要

所在地	〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 tel. 03-5432-1526(代表)
交通	三軒茶屋駅[東急田園都市線(渋谷より2駅・5分)・世田谷線] 直結 キャロットタワー内
設計・監理	世田谷区営繕第一課 アトリエR(斎藤義) 構造設計…石本建築事務所 設備設計…世田谷区営繕第一課 建築設備設計研究所 音響設計…山崎芳男(早稲田大学)+IAT シンボル彫刻・メタルアート…小野亮二 空の天井デザイン…島倉二千六
竣工	1997年
劇場	[世田谷パブリックシアター] 舞台形状…標準プロセニウム形式とオープン形式 客席…600席(基本形状)+車椅子スペース(12席) 最大定員700名 楽屋…5室+公演スタッフ室 [シアタートラム] 舞台形状…掘り込み形式 客席…218席(基本形状)+車椅子スペース(7席) 最大定員248名 楽屋…3室+グリーンルーム
その他設備	稽古場3室／作業場2室／染色作業場／音響スタジオ

沿革

世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE

1997年4月	世田谷パブリックシアター 開場 佐藤信劇場監督 就任
1999年	アメリカ劇場技術協会 劇場建築部門優秀賞受賞
2002年8月	野村萬斎芸術監督 就任
2005年1月	第1回JAFRAアワード(総務大臣賞)受賞
2007年4月	開場10周年
2008年4月	野村萬斎芸術監督第2期就任
2012年4月	開場15周年
2013年4月	野村萬斎芸術監督第3期就任
2017年4月	開場20周年



- 『岸 リトラル』(2018年)
作:ワジディ・ムワド 翻訳:藤井慎太郎 演出:上村聡史
- こまつ座&世田谷パブリックシアター『シャンハイムーン』(2018年)
作:井上ひさし 演出:栗山民也
- 日韓文化交流企画 世田谷パブリックシアター開場20周年記念公演
世田谷パブリックシアター+兵庫県立芸術文化センター
『パール・ギュント』(2017年)
原作:ヘンリック・イブセン 上演台本・演出:ヤン ジョンウン
- 『管理人』(2017年)
作:ハロルド・ピンター 演出:森新太郎
- 『チック』(2017年) 原作:ヴォルフガング・ヘルンドルフ
上演台本:ロベルト・コアル 翻訳・演出:小山ゆうな
- 勅使川原三郎『ABSOLUTE ZERO 絶対零度 2017』(2017年)
構成・振付・美術・照明:勅使川原三郎
- 世田谷パブリックシアター開場20周年記念公演
狂言『唐人相撲』／『MANSAIボレロ』(2017年)
- 『お勢登場』(2017年)
作・演出:倉持裕
- 世田谷パブリックシアター+KERA・MAP#007
『キネマと恋人』(2016年)
台本・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ
- 『マクベス』(2010／13／14／16年)
原作:W.シェイクスピア 構成・演出:野村萬斎
- 『レディエント・バーミン Radiant Vermin』(2016年)
作:フィリップ・リドリー 演出:白井晃
- 京都造形芸術大学舞台芸術研究センター+世田谷パブリックシアター
『原色衝動』(2016年)
振付・構成:白井剛 キム・ソンヨン
映像写真:荒木経惟「往生写集—東ノ空・PARADISE」より
- 『同じ夢』(2016年)
作・演出:赤堀雅秋
- 世田谷パブリックシアター+文学座+兵庫県立芸術文化センター
『トロイラスとクレシダ』(2015年)
作:W.シェイクスピア 演出:鶴山仁
- 『敦—山月記・名人伝—』(2005／06／15年)
原作:中島敦 構成・演出:野村萬斎
- こまつ座&世田谷パブリックシアター『藪原検校』(2012／15年)
作:井上ひさし 演出:栗山民也
- 『マーキュリー・ファー Mercury Fur』(2015年)
作:フィリップ・リドリー 演出:白井晃
- 『炎 アンサンディ』(2014年／17年)
作:ワジディ・ムワド 演出:上村聡史
- 『THE BIG FELLAH ビッグ・フェラー』(2014年)
作:リチャード・ピーン 演出:森新太郎
- 『神なき国の騎士—あるいは、何がドン・キホーテにそうさせたのか?』(2014年)
作:川村毅 演出:野村萬斎
- 『Tribes トライブス』(2014年)
作:ニーナ・レイン 演出:熊林弘高
- 『クリプトグラム』(2013年)
作:デイヴィッド・マメット 翻訳・演出:小川絵梨子
- 『MANSAI ボレロ』
(『MANSAI●解体新書 その式拾参』2013年／『狂言劇場 その七』2011年)
振付:野村萬斎

- 『ジャンヌ』—ノーベル賞作家が暴く 聖女ジャンヌ・ダルクの真実—(2013年)
作:バーナード・ショー 演出:鶴山仁
- 世田谷パブリックシアター+コンプリシテ共同制作(2008／09／10／13年)
『春琴』～谷崎潤一郎『春琴抄』『陰翳礼讃』より～
演出:サイモン・マクバーニー
- 『オセロ』(2013年) 作:W.シェイクスピア 構成・上演台本・演出:白井晃
- 『南部高速道路』(2012年) 原作:フリオ・コルタサル 構成・演出:長塚圭史
- 『4 four』(2012年) 作:川村毅 演出:白井晃
- 『ハーベスト』—神が田園を創り、ひとが町をつくった—ハリソン家、百年の物語(2012年)
作:リチャード・ピーン 演出:森新太郎
- 『サド侯爵夫人』(2012年) 作:三島由紀夫 演出:野村萬斎
- 『モリー・スウィーニー』(2011年)
作:ブライアン・フリール 翻訳・演出:谷賢一
- 『まちがいの狂言』(2001／02／05／10年)
原作:W.シェイクスピア『間違いの喜劇』 作:高橋康也 演出:野村萬斎
- 『ガラスの葉』(2010年) 作:フィリップ・リドリー 演出:白井晃
- 『国盗人 くにぬすびと』—W.シェイクスピア『リチャード三世』より—(2007／09年)
作:河合祥一郎 演出:野村萬斎
- 『奇ッ怪～小泉八雲から聞いた話』(2009年) 構成・脚本・演出:前川知大
- 『遠野物語・奇ッ怪 其ノ参』(2016年)
原作:柳田国男 脚本・演出:前川知大
- 『友達』(2008年) 作:安部公房 演出:岡田利規
- 『偶然の音楽』(2005／08年)
原作:ポール・オースター 構成・台本・演出:白井晃
- カフカ2作品交互上演『審判』『失踪者』(2007年)
原作:フランツ・カフカ 構成・演出:松本修
- 日仏国際共同制作公演『遊*ASOBU』(2007年)
振付・演出:ジョセフ・ナジ
- 『ソウル市民』(2005年) 作:平田オリザ 演出:フレデリック・フィスバック
- アジア現代演劇コラボレーション・プロジェクト(2005年)
『ホテルグランドアジア』
- 『子午線の祀り』(2004年／17年)
作:木下順二 演出:観世榮夫(04年)／野村萬斎(17年)
- 世田谷パブリックシアター+コンプリシテ共同制作(2003／04年)
『エレファント・バニッシュ』～村上春樹短編集『象の消滅』(英語版)より～
演出:サイモン・マクバーニー
- 『見よ、飛行機の高く飛べるを』(2004年)
作:永井愛 演出:アントワヌ・コーベ
- 『時の物置』(2004年) 作:永井愛 演出:江守徹
- 『ハムレット』(2003年) 作:W.シェイクスピア 演出:ジョナサン・ケント
- 『Padre Nostro パードレ・ノストロ—我らが父よ』(2002年)
原作:ルイー・ルナーリ 演出・美術:佐藤信
- 日本+マレーシア現代演劇共同制作公演『あいだの島』(2001年)
作・演出:ジョー・クカサス
- 『ロベルト・ズッコ』(2000年) 作:ベルナルド=マリ・コルテス 演出:佐藤信
- 日・タイ現代演劇共同制作プロジェクト公演『赤鬼』(1997／99年)
作・演出:野田秀樹
- 『A LIFE IN THE THEATRE ライフ・イン・ザ・シアター』(1997年)
作:デイヴィッド・マメット 演出・美術:佐藤信

シリーズ企画

- **MANSAI**●解体新書 その巻～貳拾六(2002年～)
- **狂言劇場** その巻～八(2004年～) 企画:野村萬斎
- **現代能楽集 I～Ⅷ** 企画・監修:野村萬斎
 - I『**AOI／KOMACHI**』(2003／07年) 作・演出:川村毅
 - II『**求塚**』(2004年) 作・演出:鐘下辰男
 - III『**鶴／NUE**』(2006年) 作・演出:宮沢章夫
 - IV『**The Diver ザ・ダイバー**』(2008年) 作・演出:野田秀樹
 - V『『**春独丸**』『**俊寛さん**』『**愛の鼓動**』』能『弱法師』『俊寛』『綾の鼓』より(2010年) 作:川村毅 演出:倉持裕
 - VI『**奇ッ怪 其ノ武**』(2011年) 作・演出:前川知大
 - VII『**花子について**』能『莫上』・狂言『花子』・三島由紀夫作『近代能楽集**斑女**』より(2014年) 作・演出:倉持裕
 - VIII『**道玄坂綺譚**』三島由紀夫作『近代能楽集**卒塔婆小町**』『**熊野**』より(2015年) 作・演出:マキノノゾミ
- **能楽現在形 劇場版@世田谷**(2007年～)
- **邦楽コンサート 獅子虎傳阿吽堂 vol.1～6 番外編**(2005年～)
- **フリーステージ**(1997年～)
- **世田谷アートタウン『三茶de大道芸**』(1997年～)
- **せたがやこどもプロジェクト**(2014年～)
 - 日野皓正 presents “Jazz for Kids”**(2005年～)
 - 子どもとおとなのための◎読み聞かせ『お話の森』**(2010年～)
 - 『NEVERENDING STORY～まちがいのコンドルズ～』**(2017年) 構成・映像・振付:近藤良平
 - 音楽劇『兵士の物語』**(2016年) 演出・振付:近藤良平 音楽:イーゴリ・ストラヴィンスキー 文:C.F.ラミューズ
 - おどるマンガ『鳥獣戯画』**(2015年) 振付・構成・演出:スズキ拓朗
 - YOUTH-PERFORMANCE “トバズニハ”**(2012～14年) 構成・映像・振付:近藤良平
 - 子どもとおとなのためのお芝居『暗いところからやってくる』**(2014年) 作:前川知大 演出:小川絵梨子
- **こどもの劇場**(1997年～2012年)
 - 『狼たちの午後～Hungry Like a Wolf～』**(2010／12年) 構成・映像・振付:近藤良平
 - 『にんぎょひめ』アンデルセン作『人魚姫』より**(2007／08／09／10年) 脚本・演出:テレーサ・ルドヴィコ
 - 『雪の女王』**(2005／06年) 原作:アンデルセン 脚本・演出:テレーサ・ルドヴィコ ほか
- **シアタートラム ネクスト・ジェネレーション vol.1～10**(2009年～)
- **爆笑寄席●てやん亭**(1998年～)
- **戯曲リーディング◆時代を築いた作家たち①～③**(2013～2015年)
 - ①**カミュ**(2013年) ②**イオネスコ**(2014年) ③**カミュ**(2015年)
- **ドラマ・リーディング 1～31**(1997～2009年)
 - 『世界が緑色だったとき』**(シェフのお話)(2009年) 作=ジョセフ・チャイキン、サム・シェパード 演出:森新太郎
 - 『マクベス』**(2008年) 原作:W.シェイクスピア 演出:野村萬斎
 - 『醜男(ぶおとこ)』**(2008年) 作:マリウス・フォン・マイエンブルク 演出:ノゾエ征爾
 - 『ガレキ』**(2006年) 作:デニス・ケリー 演出:赤堀雅秋
 - 特集「ドイツ語圏の現代戯曲vol.2」(2006年) 演出:森新太郎
 - 『汝、気になすことなかれ——シュペルトの歌曲にちなむ死の三部作』** 作:エルフリーデ・イエリネク 演出:ペーター・ゲスナー
 - 現代能楽集Ⅲ『鶴／NUE』**(2006年) 作・演出:宮沢章夫
 - 『フクロウの賭け』**(2005年) 作・演出:川村毅 ほか
- **日本語を読む～ドラマ・リーディング形式による上演～ その1～4** (2008～11年)

- **シリーズ「独舞」vol.1～22**(2001年～)
 - 黒沢美香(2015年)／KENTARO!!(2014年)
 - 黒田育世 黒田育世×鮎屋法水(2010年)／東野祥子(2008年)／齋藤美音子(2008年)
 - 寺田みさこ(2007年)／矢内原美邦(2006年)／伊藤千枝(2006年)／近藤良平(2005年)
 - 井手茂太(2005年)／白井剛(2004年)／山田うん(2004年)／田中泯(2002年)
 - 笠井勲(2001年) ほか
- **シリーズ「二十一世紀舞踊」**(2000年～2009年)
 - イデビアン・クルー(2006年)／水と油(2006年)／Noism05(2005年)
 - 伊藤キム(2005年)／ニブロール(2004年)
 - 安藤洋子×ウィリアム・フォーサイス(2004年)／笠井勲(2002年)
 - 珍しいキノコ舞踊団(2002年)／H.アール・カオス(2001年) ほか

主な海外招聘公演

- **カンパニーXY『夜はこれから』**(2017年)
- **ビーピング・トム『ファーザー』**(2017年)
- **ロシア国立サンクトペテルブルグ マールイ・ドラマ劇場『たくらみと恋』**(2017年)
- **カンパニー デフラクト『フラーク』**(2016年)
- **『ミュルミュル ミュール』**(2015年) 構想・演出:ヴィクトリア・ティエレ=チャップリン
- **『Needles and Opium 針とアヘン ～マイルス・デイヴィスとジャン・コクトーの幻影～』**(2015年) 作・演出:ロベール・ルバージュ
- **レ・マンジュ・ドウ・ラバン『ラバン! ラバン!』**(2015年)
- **ラルンベ ダンサ、ベンドゥロ セロ『クジラ～はるかな海の伝説～』**(2014年)
- **グループ・アントルス『[àut]』**(2014年)
- **ビーピング・トム『A Louer／フォー・レント』**(2014年) 演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **『ヴァンデンブランデン通り32番地』**(2010年) 演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **『Le Sous Sol／土の下』**(2009年)
- **DUEL『DUEL～チェロとピアノのゆかいな決闘～』**(2013年)
- **サダリ・ムーブメント・ラボラトリー+エイジアナウ・プロダクション『ヴォイツェック』**(2013年)
- **ロンドン・ヤングヴィック劇場『カフカの猿』** 演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **～フランツ・カフカ「ある学会報告」より～**(2012年)
- **ジョセフ・ナジ『カラス／Les Corbeaux』**(2012年) 演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **『ハバククの弁明』**(2001年)／**『ヴォイツェック』**(2000年)
- **ソチエタス・ラファエロ・サンツィオ『神曲 煉獄篇』**(2009年)
- **ミラノ・ピッコロ座『アルレッキーノ——二人の主人を一度にもつと』**(2009年)
- **韓国国立劇場『胎～The Life Cord』**(2009年)
- **ロベール・ルバージュ『アンデルセン・プロジェクト』**(2006年) 演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **『月の向こう側』**(2002年)
- **インバル・ピント・カンパニー『ボンビックス モリ with ラッシュ』**演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **『ゴールドフィッシュ』**(2012年) 演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **『オイスター』『ブービーズ』**(2005年)
- **シャウビューネ劇場『ノラ～人形の家～』『火の顔』**(2005年)
- **カンパニー・マギー・マラン『拍手は食べられない』**(2003年) 演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **『ワートルゾーイ』『メイB』**(1997年)
- **ピーター・ブルック『ハムレットの悲劇』**(2001年) 演出:テレーサ・ルドヴィコ
- **『ザ・マン・フー』**(1999年)／**『しあわせな日々』**(1997年)
- **フィリップ・ドゥクフレ&カンパニーD.C.A『トリトン2ter』**(2000年)
- **テアトル・ド・コンプリシテ『ストリート・オブ・クロコダイル』**(1998年)

コミュニティプログラム

〈演劇・ダンスワークショップ〉(通年企画)

劇場や演劇、ダンスをいろいろな角度から楽しめる事業を実施します。単発から複数回のコースまで、期間のバリエーションだけではなく、内容も多岐にわたるコースを設定していきます。演劇やダンスのもつ様々な手法に触れながら、お互いに知り合ったり、体を動かしたりすること、創造的な作業に携わることのおもしろさや意義を実感してもらうことが、全てのコースに共通する目的です。また、普段は客席から見られない、劇場の裏側を巡る「劇場ツアー」も実施していきます。

〈子どものためのワークショップ〉

●小学生・中高生のための演劇・ダンスワークショップ

学校の長期休暇に合わせて、対象年齢別のワークショップを年間10コース程設定します。気づくといつの間にか踊っているようなダンスワークショップから、演劇をつくってみるワークショップまで、あらゆるタイプのワークショップを企画していきます。すべてのコースに共通するのは、既に出てきている戯曲や振付を覚えるのではなく、自己を表現する手段として、子どもオリジナルの演劇やダンスを体験したり、つくり上げていくことです。

●世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部(通年企画)

世田谷区内在住・在学の中学生を主な対象とした、通年でのワークショップ事業です。中学生と演劇の専門家が演劇を様々な要素から体験することで、ともに新しい気づきを得、中学生ならではの演劇作品の創造を目指します。もうひとつ目標とするのは、「演劇部」の名の通り、演劇と劇場が子どもにとって身近で楽しい場所となることです。

〈地域の物語ワークショップ+作品発表〉

世田谷パブリックシアターで最も長い期間にわたって実施するワークショップです。参加者は、まちや地域の人々取材し、演劇やダンスづくりを通じて、地域について見つめ直します。つくりあげた作品は「地域の物語」として劇場で発表します。作品をつくるだけではなく、作品をつくるプロセスを通じて、参加者と観客が出会ったり、色々な考えや思いを共有していくことも目指しています。世田谷パブリックシアターが、地域の拠点である公共劇場としての役割を担い得る上で、核となっている事業です。



学校とその他区内施設との連携プログラム

〈学校のためのワークショップ〉

●かなりゴキゲンなワークショップ巡回団

世田谷パブリックシアターのスタッフとワークショップ進行役が、学校訪問を行う事業です。世田谷区内の小中学校の先生方の要望に基づいて、授業や学校の様々な催し、放課後活動に合わせた演劇ワークショップをオーダーメイド型で実施していきます。また学校のみにとどまらず、区立のほっとスクール(不登校児童・生徒の学校復帰支援施設)や、都内の弱視の児童が通う特別学級でも行っています。

●先生のための演劇ワークショップ

小中学校の先生方自らが、世田谷パブリックシアターの演劇ワークショップの手法を学校の現場で活用していく上で、必要となるスキルや考え方を獲得していくためのワークショップやミーティングを実施します。

〈世田谷区立中学校演劇部支援〉

区立中学校の演劇部の部活動支援を行っていきます。夏期休業期間中の世田谷区内の全演劇部員を対象とした講習会をするだけでなく、世田谷区立中学校演劇発表会での技術支援もしていきます。

〈区内施設連携プログラム〉

区内施設やNPOなど、非営利組織と協力し、演劇やダンスを活用して、地域のニーズや組織の抱える課題などに取り組むワークショッププログラムを実施していきます。

〈世田谷パブリックシアター@ホーム公演^{あっと}〉

劇場へ足を運ぶことができない方々にも気軽に演劇を楽しんでいただくことを目的としています。歌やパントマイムを盛り込んだオリジナル作品を、世田谷区内の高齢者施設(特別養護老人ホーム、デイサービス)などで上演しています。(脚本・演出:ノゾエ征爾)

| 世田谷区受託 |

〈小学校古典芸能鑑賞教室〉

区立小学校の6年生全生徒を対象に、狂言作品の上演とともに体験型ワークショップを実施していきます。能狂言で培われた発想や技能を体感し、日本固有の文化について意識し関心を高める機会を提供します。

〈新・才能の芽を育てる体験学習

Dream Jazz Band Workshop

世田谷区立中学校の生徒を対象としたワークショップ。日野皓正氏をはじめ、ジャズ界で活躍するプロミュージシャンを講師に迎えたワークショップを重ね、8月、世田谷パブリックシアターでの『Jazz For Kids Dream Jazz Band Concert』でその成果を発表します。

〈教科日本語〉

区内小学校の教諭を対象に、「日本語」教科の研修を実施していきます。

研究育成プログラム

〈観客育成プログラム〉

●世田谷パブリックシアター＋ITI(国際演劇協会)レクチャー

特定の国や地域を取り上げ、その演劇・舞踊事情について、基礎的な知識から最新の動向、演劇の社会的基盤までを探る、レクチャーシリーズです。

●舞台芸術のクリティック

演劇やダンスの批評を实践するレクチャーです。主催公演を出発点に舞台を読み解くための視点を探る理論編と、対象の主催公演の批評を書き、討論を行う合評編を軸に展開します。

●世田谷パブリックシアター ダンス食堂

劇場で上演するダンスカンパニーの方を招き、いろいろな角度からダンスを味わえる場となることを目指したのが、2013年度からの新企画「世田谷パブリックシアターダンス食堂」です。トークやワークショップなど様々な趣向の企画を展開していきます。

●出版物

『SPT』／『PT』／『SPT Educational』 ほか

劇場自らが今後の芸術的な方向性を模索し、研究するための「場」として、劇場理論誌を発行しています。世田谷パブリックシアターという〈演劇創造の現場〉において、「いま、ここ」で誕生するであろう「演劇」の意味やその可能性を「読者＝観客」とともに発見するような特集テーマを取り上げます。

『CarroMag』

劇場での上演活動以外の、通常目に留まることの少ないレクチャーやワークショップなどの活動を不定期(年3回程度)でご紹介する冊子を発行しています。

〈専門家育成プログラム〉

●進行役のためのワークショップ「SPTワークショップラボ」

学校やコミュニティなどの現場でワークショップを進行する方や進行したいと考えている方と共に、レクチャーやゼミナール、カフェスタイルのミーティング、実践ワークショップ等を通じて、ワークショップや劇場のあり方を考えていきます。成果は人材の開発・育成につなげていきます。さらに、目的を同じくする各地の団体や演劇人と連携して、成果を広く共有していきます。

●演劇研究ゼミナール(通年企画)

これからの日本の演劇界を支える若手演出家や劇作家、俳優、ワークショップ・ファシリテーター、ドラマトウルグ、制作者らが、舞台芸術への理解を深めるとともに、自らの演劇活動を意識的に検証し、新しい表現や創作手法を探るための少人数のゼミナールを実施していきます。

●大学生インターン

普及啓発・人材養成事業に興味のある大学生を対象とした公募インターンシップを実施していきます。

舞台技術者人材育成プログラム

〈舞台技術講座〉

舞台技術を支えるスタッフを養成する講座です。創造の現場で働く際に身につけていなければならない基礎的な舞台技術と安全作業を学ぶ実習講座や、照明・音響技術を学ぶ講座、劇場技術に関する公開講座を開催しています。



観劇サポート

託児サービス(要予約・定員あり)

世田谷パブリックシアター／シアタートラムで行われる前売入場券を販売する公演では、託児サービスを行っています。

料金 | 2,000円(1名につき)

対象 | 生後6ヶ月以上9歳未満 *障害のあるお子様についてはご相談ください。

申込 | ご利用希望日の3日前の正午までに世田谷パブリックシアターへお問い合わせ | 世田谷パブリックシアター tel. 03-5432-1526

車椅子スペース(要予約・定員あり)

車椅子のままご観劇いただけるスペースがございます。

料金 | 該当エリアチケット料金の10%割引(付添者は1名まで無料)

申込 | ご利用希望日の前日の19時までに世田谷パブリックシアターチケットセンターへ

*お座席でご観劇になる場合も、スムーズにご案内させていただくため、予め劇場までご連絡ください。

お問い合わせ | 世田谷パブリックシアター チケットセンター
tel. 03-5432-1515

視覚障害者のための舞台説明会

(特定の公演・要事前申込・無料)

舞台装置・衣裳、視覚に頼らなければわかりづらい場面などを、開演前にご説明いたします。作品をより深く楽しみたい方などにも、幅広くご参加いただけます。

対象 | 舞台説明会を実施する公演のチケットをお持ちの方
お問い合わせ | 世田谷パブリックシアター
tel. 03-5432-1526 fax. 03-5432-1559

補助犬を伴っての観劇

座席によりスペースの大小がございますので、事前に世田谷パブリックシアターまでご相談ください。

お問い合わせ | 世田谷パブリックシアター
tel. 03-5432-1526 fax. 03-5432-1559

聞こえにくい方向けの音声サポートシステム

(特定の公演・無料)

講演会やトークショーなど、マイクを使用する公演でイヤホン(ワイヤレス音声補助システム)をご利用いただけます。

お問い合わせ | 世田谷パブリックシアター
tel. 03-5432-1526 fax. 03-5432-1559

聴覚障害者のための上演台本貸出

(特定の公演・要事前申込)

上演台本を事前にお貸し出しいたします。(無料)
ご来場の際にご返却ください。

お問い合わせ | 世田谷パブリックシアター
tel. 03-5432-1526 fax. 03-5432-1559

*劇場ロビーには、筆談器をご用意しています。

*劇場ホームページでは、最寄り駅からの経路を手話による映像でご案内しています。

チケット購入

世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE

世田谷パブリックシアターチケットセンター

場所 | 世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー5階 tel. 03-5432-1515

営業時間 | 10:00～19:00 年中無休(年末年始のぞく)

支払 | 現金、クレジットカード

世田谷パブリックシアターオンラインチケット

(要事前登録・登録料無料)

URL | <https://setagaya-pt.jp/>(PC・スマホ)

<https://setagaya-pt.jp/m/>(携帯)

引取 | 世田谷パブリックシアター チケットセンター、セブン-イレブン

支払 | 現金、クレジットカード

先行予約・割引のご案内(一部の公演)

●せたがやアーツカード会員(要事前登録・登録料無料) 前売のみ取扱

世田谷区在住の15歳以上の方を対象にしたチケット先行予約・割引サービスです。公益財団法人せたがや文化財団が発行する「せたがやアーツカード」にお申し込みいただくと、世田谷パブリックシアターチケットセンター及びオンラインチケットにてご予約・ご購入いただけます。

*「せたがやアーツカード」は、世田谷美術館・向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館、世田谷文学館、生活工房、音楽事業部の特典も受けることができます。

アンダー24エンターフォー

●U24[Under24](要事前登録・登録料無料・登録時要年齢確認) 前売のみ取扱・枚数限定

18歳から24歳までの方を対象にしたチケット割引サービスです。世田谷パブリックシアター主催公演(一部除く)のチケットを、一般料金の半額で提供します。

*世田谷パブリックシアター チケットセンターまたは劇場ロビーに備え付けの申込書をご利用ください。

申込書は世田谷パブリックシアターホームページからもダウンロードできます。

*高校生の方は「高校生以下」の割引をご利用ください。

●高校生以下(購入時または入場時要年齢確認)

高校生以下の方を対象にしたチケット割引サービスです。世田谷パブリックシアター主催公演(一部除く)のチケットを、一般料金の半額で提供します。

*世田谷パブリックシアター チケットセンターにてお取り扱いいたします。

お問い合わせ | 世田谷パブリックシアター チケットセンター
tel. 03-5432-1515

世田谷パブリックシアター友の会

ご入会いただくと、チケットの先行予約・割引、会報誌の定期購読など各種特典がご利用いただけます。

営業時間 | 10:00～17:00(平日のみ)

入会金 | 500円

年会費 | 3,000円

申込 | 世田谷パブリックシアターチケットセンターまたは劇場ロビーに備え付けの入会申込書をご利用いただくか、劇場ホームページの「チケット購入」購入方法「世田谷パブリックシアター友の会」からお申込みください。

お問い合わせ | 世田谷パブリックシアター友の会
tel. 03-5432-1524

